

入野小学校 校長室だより

2016. 2. 18(木) No. 38 文責：芝

こんな日も、あるがやね…

今週の火曜日（16日）は、不思議に色々な出来事が重なった日でした。だいたい予定していたことなのですが、その予定も「なんで、こんなに重なったがやろうね？」という感じ。それに偶発的なことも加わりましたので、本当に「重なるときは重なるものだ」という日に。そんな様子をお伝えします。

出来事の一つ目が来年度入学してくる保育所の年長さんの体験入学です。体育館に行ってみると下の写真のように行儀良く並んで座っていました。話の聴き方も返事もとても良くて感心したことでした。この後、学校をまわって授業の様子を見たり、上級生と遊んだりして過ごしました。入学を楽しみにしてくれているとのこと。とても嬉しいことです。

その日には、2年生と5年生の「防犯教室」も計画されていました。中村警察署から担当の方が2名来て下さり、2時間目に5年生、3時間目に2年生に授業をしていただきました。大きなパネルを使い、犯罪につながるお話を通して分かるような内容でした。

5年生は大忙しです。体験入学では年長さんと一緒に遊ぶ役割がありますので、防犯教



室が終わると、直ちに体験入学に移動です。ご苦労様でした。

それから、6年生の「事故により車いすで生活するようになった方からの聞き取り学習」も、この日でした。これは午後からでしたので、比較的慌ただしさは軽減されていましたが、それでも準備にバタバタしてしまいました。そんな中で、6年生が話を心に刻むように、しっかり聴いていたのが印象的でした。

思いがけないお客さんもあった中、子どもたちも職員も特に喜んだのが、9月に教育実習をした篠田真星さんが来てくれたこと。午前中から昼過ぎまで、たっぷり子どもたちと遊んでくれました。4月からは他県で先生をするというのが高知県としては大きな損失で、未練が残りますが、元気な様子が見られて嬉しかったです。

最後にもう一つ、この日の出来事をご紹介します。下の写真をご覧ください。



火曜日の朝は児童会役員が挨拶運動をしています。いつもは5人の役員でしているのですが、今日は参加者が一人、二人…と増えていき、最後には「この人数」。2倍以上です。この日は、普段は危険防止のために閉じている門扉を開け、学校の中だけでなく外にも挨拶をしようと児童会役員が始めたことが、こんなに広がっていきました。

いろいろな出来事が重なった一日は、こんなさわやかな挨拶運動から始まったのです。